

企業担当者を対象とした学校公開の取組

～ 本校への理解及び啓発に繋げる取組から～

熊本県立ひのくに高等支援学校

1 はじめに

本校は、生徒の自律的、主体的な態度を尊重しながら生徒一人一人の能力・特性に応じたきめ細やかな指導を行い、社会自立・職業自立のための教育を行うことを目標にしています。進路指導においては、進路学習として事業主の方の話を聞いたり企業訪問をしたりして、働くことの意味や働くためには何が大切かを学び、考えます。また、現場実習では、将来の就労を目指して一定期間、事業所等で働くことを通して、働くことの大切さや厳しさを学んでいます。

2 企業担当者を対象とした学校公開の取組

この取組は、平成25年度から始まりました。企業の人事担当者と本校生徒、職員との意見交換を通して、本校生徒の能力や個性をアピールし、支援学校の教育に対する理解及び啓発を図るとともに、進路指導に役立てることが目的です。今年度も20社24名の企業担当者に参加していただき、授業参観や活発な意見交換会を行うことができました。授業参観では、どの企業の方も大変関心を持って見学され、「生徒のみなさんの挨拶がよく、コミュニケーションが取りやすかった。」「社会で生きていくために努力している様子が非常に勉強になった。」などの言葉をいただきました。生徒との意見交換会では、ある担当者の方の「何のために働くのですか。」という質問に対して、一人の生徒は「生きるために、幸せになるためにです。」と答えました。

企業担当者、本校生徒・職員の双方にとって有意義な場となった一日でした。



(授業参観)



(全体会)



(意見交換会)

3 おわりに

この会の最後に、ある企業の方から「夢を持っていますか？その夢や希望を実現するためには目標を持つこと、さらに具体的に計画を立てて実行すること。そしてその結果を反省してよい方法を考えていく。それを繰り返せば夢は叶います。」という言葉いただきました。生徒達からは「知らないことを企業の方に聞いてよかった。」「この会で学んだことを卒業後の仕事に活かしたい。」というような感想も出ました。生徒達は、直接企業の方との意見交換を経験できたことで、社会人となる第一歩を踏み出せたと思います。